

審 議 会 次 第

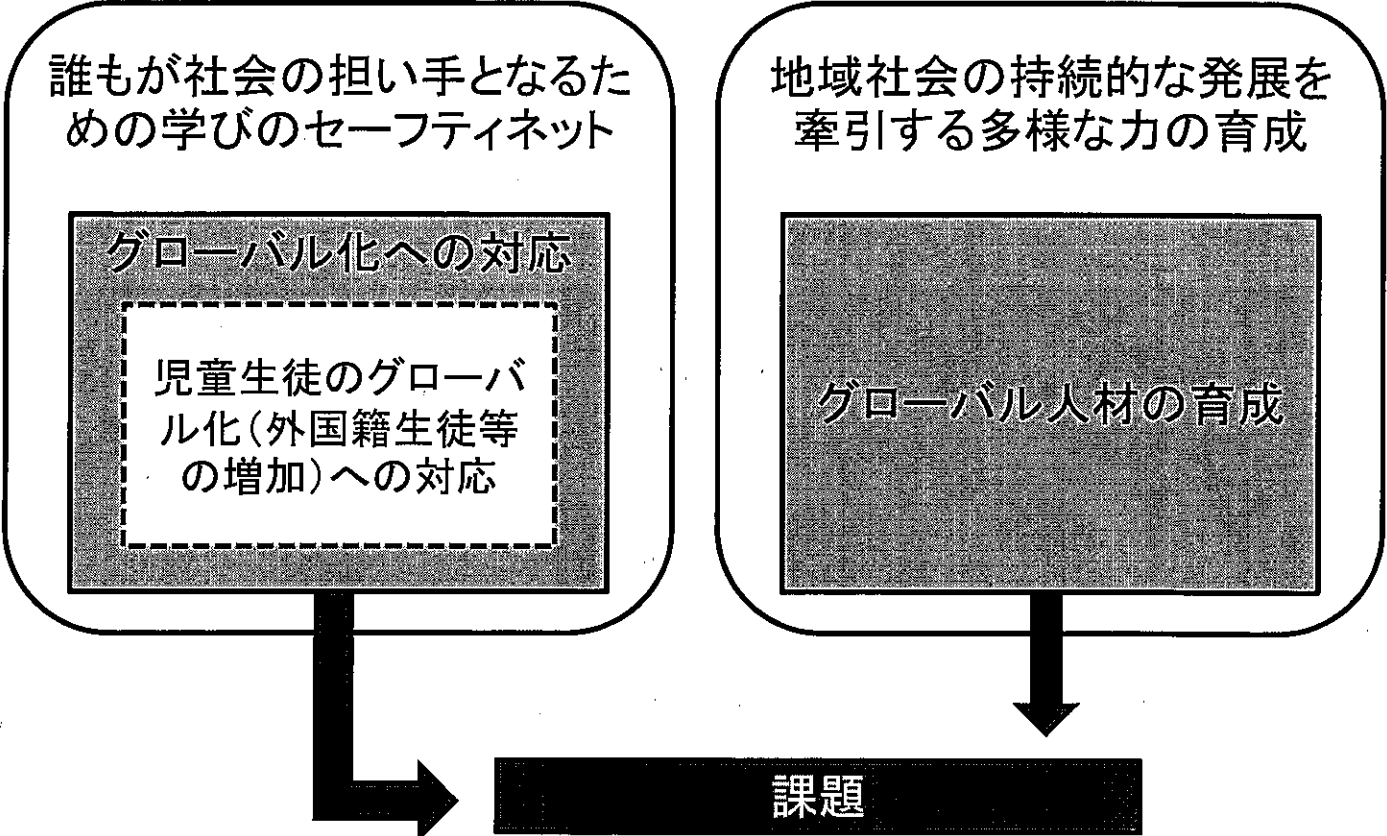
日 時 平成30年12月18日(火)
13時30分～

場 所 防災新館4F407会議室

第7回審議会

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
 - (1) グローバル化への対応
 - (2) 地域との連携
 - (3) その他
- 4 閉 会

グローバル化対応



課題

日本社会・地域社会のグローバル化に対し、高校教育ではどのように対応していくか、その方向性

関連する要素(例)

- 在留外国人の増加
- 外国籍生徒数の増加
- 外国籍生徒の就業や上級学校進学への接続
- 今後の帰国生徒の増加
- 留学希望者の受け入れ
- 日本語指導が必要な生徒の増加
- 外国人観光客の増加
- グローバルな視点での競争力の向上

想定される複数の分野

海外から帰国する生徒

- 保護者の仕事などの事情で海外で一定期間過ごした生徒など(日本人)

• どのような形で受け入れるか。
• 県内生徒と共にどのように教育効果を高めるか

海外から働きに来る(転勤・定住する)家庭の子や県内に在住する外国籍の生徒(外国籍)

- 改正入管法によりさらに外国人人材の県内企業等での活用が増える可能性
- 日本語の学習環境を家庭等で整えられる場合
- 日本語の学習環境を家庭等で整えることが難しい場合

日本語を苦手とする生徒に対し、高校教育ではどのように対応していくか

グローバルな活躍を志す日本人生徒

- グローバルな場面に立ち日本の社会・経済を牽引できる人材の育成

国際理解や語学力、国際競争力を高める教育のあり方は

外国人に対応ができる人材の育成

- 外国人観光客等、県内におけるグローバルな場面でも対応できる人材
- 県内企業の海外への業務展開へ対応できる人材

想定される複数の分野における対応例

海外生徒・帰国生徒の受入

- 帰国生徒等の受入や教育効果の向上
- 受入の方法やあり方(枠、クラス、コースなど)
- 入試制度のあり方(特例的な方法など)

日本語が苦手な外国籍生徒への対応

- 中学から高校への接続
- 日本語が苦手な生徒の受入の方法
- 国の施策との連動(外国人材の活用)
- 入試制度のあり方(特例的な方法など)

日本人生徒の国際理解や国際競争力向上 (グローバル人材の育成)

- 国際理解の促進
- 語学力(英語4技能〈※〉等)の向上
- 課題解決力の向上
- プレゼンテーション能力の向上
- 国際バカロレア等の活用

※ 英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」技能のこと

入学者選抜における特別措置の状況（参考）

特別措置の適用の条件

1. 海外帰国生徒

原則として、平成28年4月1日以降に帰国した者又は帰国予定の者で、外国における在住期間がその帰国時からさかのぼり継続して2年以上ある者

2. 移住生徒

中国残留邦人等、永住するため海外から引き揚げてきた者及び海外から移住してきた者の子で、原則として、平成31年4月1日現在、日本における在住期間が7年以内の者

なお、中国残留邦人等とは、昭和20年9月2日以前から引き続き外国に居住し、その後、永住目的で帰国した者（これらの者を両親として外国において出生した者を含む。）をいう。

3. 外国籍生徒

保護者とともに山梨県内に居住し、又は居住予定のある外国籍を有する者で、原則として、平成31年4月1日現在、日本における在住期間が7年以内の者

特別措置の内容

○ 入学検査における特別措置

1. 調査書の記録、学力検査の成績及び面接の結果とし、一般受検者と区別して行う。
2. 学力検査は、平成31年度山梨県公立高等学校入学者選抜学力検査問題を使用し、国語、社会、数学、理科及び英語の5教科の中から自己選択した3教科とする。

○ 募集定員における特別措置

募集定員を超えて、志願先高等学校の学級数に相当する数まで入学を許可することができる。

○ 入学後の特別措置

日本語指導を特に必要とする生徒を対象とした教育課程を、笛吹高等学校及び都留奥蔵館高等学校(普通科)並びに中央高等学校に置く。

特別措置の実施状況

入試年度	H26	H27	H28	H29	H30
特別措置適用件数	7	11	16	12	8

他自治体における入学者選抜の例（参考）

神奈川県

特別募集を実施

1. 海外帰国生徒特別募集
 - ・海外に長期滞在をして帰国、帰国予定の受検者を対象
 - ・実施校8校(全日制)
 - ・3教科(英語、国語、数学)、作文、面接
2. 在県外国人等特別募集
 - ・県内に在住で外国籍を持っている、または外国籍を取得して間もない受検生を対象
 - ・実施校13校(全日制及び定時制)
 - ・3教科(英語、国語、数学)、面接

静岡県

特別選抜を実施

1. 海外帰国生徒選抜
 - ・海外帰国生徒を対象
 - ・実施校15校(全日制)
 - ・5教科、面接
2. 外国人生徒選抜
 - ・保護者と共に日本に滞在している生徒を対象
 - ・実施校9校(全日制)
 - ・日本語基礎力検査(聞き取り、作文等)、面接

大阪府

特別選抜を実施

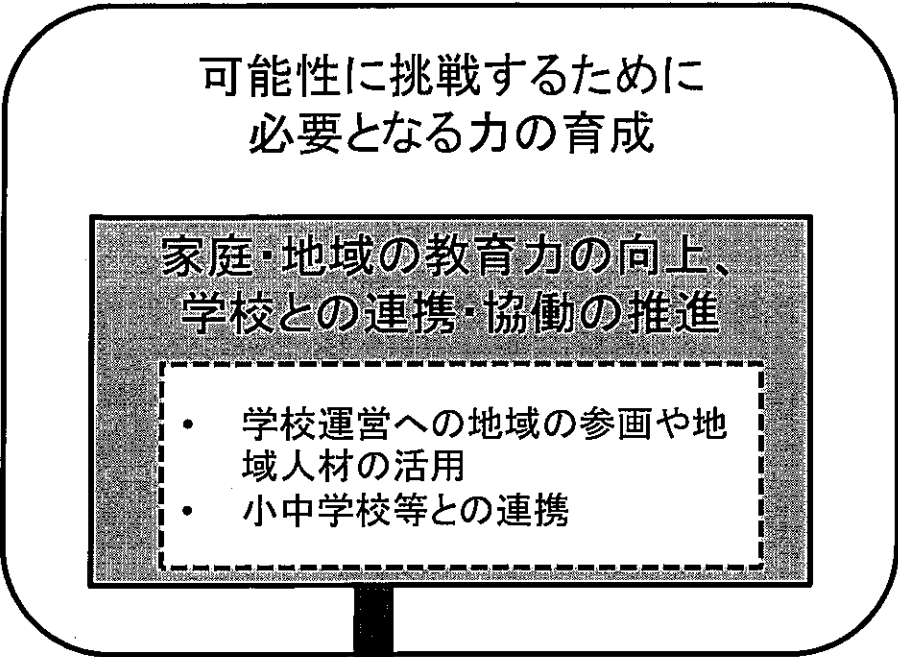
1. 海外から帰国した生徒の入学者選抜
 - ・海外帰国生徒を対象
 - ・実施校19校(全日制)
 - ・2教科(英数)、面接
2. 日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜
 - ・中国から帰国した者又は外国籍を有する生徒を対象
 - ・実施校7校(全日制)
 - ・2教科(英数)、面接
 - (※ 学力検査では、英語以外の辞書の持ち込み可)

長崎県

特例措置を実施

1. 帰国生徒・外国籍生徒に係る入学者選抜の特例措置
 - ・海外帰国生徒、中国等引き揚げ者の子等、外国籍生徒を対象
 - ・全校で実施
 - ・作文、面接(日本語又は外国語)

地域との連携



課題

地域との連携・協働のあり方

関連する要素(例)

- 家庭や地域と学校との連携・協働
- 地域への愛着や誇りを子供たちに育成する
- 各地域における連携・協働を支える人材の確保や育成
- 地域の教育資源の活用
- コミュニティスクールの導入や運営
- 学校を核とした地域振興
- 地域社会の活力の維持・向上
- 地域の大人と共に地域課題を解決する取り組み
- 市町村との連携
- 市町村との包括連携協定に基づく活動
- 地域住民や多様な機関・団体等の参画
- 外部人材の活用
- 多様な活動機会の確保

地域と学校の協力や連携の可能性

本県や他都道府県等の取り組み例から

- 地域に開かれた学校づくり
 - ▶ 交流や施設開放

- 地域と連携する仕組み
 - ▶ コミュニティスクール
 - ▶ 包括連携協定

- 外部の人材の活用
 - ▶ 部活動
 - ▶ キャリア教育

- 地域への愛着の醸成
 - ▶ 歴史や文化に触れる機会づくり

学校や家庭／地域における活動の例（参考）

学校

教科教育

学校行事

運動会、修学旅行、卒業式等

キャリア教育
(インターンシップ)

生徒指導

生徒会活動

進路指導(就職・進学)

部活動(運動・文化・その他)

課外授業

PTA

模擬試験

家庭／地域

ボランティア活動

スポーツクラブ

文化芸術体験

イベント・行事

家庭教育

企業

学習塾・習い事

NPO